

18	卓球
ビジョン	卓球を通して協調性、判断力、集中力を養おう
ゴール	後期には班内で全員と試合を行えるようにする
理由	ボールを繋ぐことは互いの協力により行うもので、技術の向上と共に、繋げるようになればなるほど楽しさは倍増する。
知の成果物	スポーツによるマナーの習得
身につく力(目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習ではできるだけ相手の打ちやすい場所に返球することでスイングフォームが固まる(思いやる心)</li> <li>・試合では瞬時の判断で返球する(集中力)</li> </ul>
学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球のルールの習得</li> <li>・基礎的なグリップ、スイング</li> <li>・繰り返し練習によるスイングフォームの確立</li> <li>・シングルス、ダブルスの戦略</li> <li>・変化球サーブとレシーブ</li> </ul>
活動の特徴	ラケットなどの用具は貸し出しします。必ず運動着に着替え、室内シューズ着用のこと。
班主任名	鈴木康司 医療科学部 臨床検査学科
<初回>活動場所	アセンブリホール2F 小アリーナ
<通常>活動場所	
<雨天時>活動場所	